

令和6年度第1回大和高田市介護保険運営協議会 会議録要旨

1. 開催日時	令和7年1月30日(木) 午後2:00~午後3:00
2. 場所	大和高田市役所5階 会議室6.7
3. 出席者	<p>(委員)</p> <p>出席12名</p> <p>森本会長 赤井委員 西岡委員 竹島委員 小松委員 上山委員 宮本委員 鳩間委員 古橋委員 仲田委員 原委員 福本委員</p> <p>欠席3名</p> <p>酒本委員 中井委員 吉村委員</p> <p>(事務局)</p> <p>田中保健部長 山本地域包括ケア推進課長 辻本地域包括ケア推進課長補佐 水原介護保険課長 米本介護保険課介護保険グループ係長 藪下介護保険課介護保険グループ係長</p>
4. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 大和高田市介護保険運営協議会 会長の選出について</p> <p>(2) 大和高田市介護保険運営協議会 副会長の選出について</p> <p>(3) 令和5年度介護保険給付費等の決算報告と令和6年度の状況について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>
5. 配布資料	<p>【資料1】 令和5年度 大和高田市要介護認定等の状況 令和5年度 大和高田市介護保険事業の決算状況</p> <p>【資料1-1】 令和5年度介護保険事業費決算状況(奈良県下12市) 第9期市町村介護保険料基準額(月額)一覧</p> <p>【資料2】 令和6年度 大和高田市介護保険給付費等の状況</p> <p>【資料その他】 大和高田市指定サービス事業所</p>
議事内容	(1) 会長の選出について 被保険者代表より森本委員が選出される。
	(2) 副会長の選出について 学識経験者より原委員が選出される。

(3) 令和5年度介護保険給付費等の決算報告と令和6年度の状況について

事務局より配布資料をもとに状況報告。全会一致で承認。

(委員からの質問①)

認定者が増えているから給付費が増えているということだが、認定者が減れば給付費は下がるのか。また施設の増減も同様に給付費に影響があるのか。

(事務局回答①)

質問①について、事務局より回答。

介護サービスを必要としている方が認定を受けることになるので、認定者が増えれば給付費は当然増えることになります。また、有料老人ホームの増加が給付費の増加の直接的な要因というわけではなく、一部の有料老人ホームで行われている過剰な居宅介護サービスの提供が問題であり、不必要な介護サービスが本市だけでなく、全国的に介護保険給付費の上昇の一因になっております。

(委員からの質問②)

①の質問で急増している有料老人ホームに対して市は何か対応策はあるのか。

(事務局回答)

質問②について、事務局より回答。

有料老人ホームは介護施設ではなく、高齢者の住宅という扱いなので指定権限や指導権限はどこにもありません。許認可申請ではなく都道府県への届出で開設できるので有料老人ホームが増えないように市で制限することは難しい。

間接的ではありますが、有料老人ホームで行われる居宅介護サービスが利用者に適正なものなのかをケアプランの点検で確認し、疑義があれば担当ケアマネジャーに確認し、必要であれば是正する取組や、ケアマネジャーの技能向上の研修を実施することにより介護保険給付の適正化に取り組んでおります。

(4) その他について

市内の指導指定権限のある事業所について
事務局より資料をもとに報告。

(委員からの質問③)

5. 閉会	<p>認定者が多いというのは減らす努力をしていかないといけないのではないか。介護保険課単独で難しいことではあるが、他の課と連携して市の事業として要介護認定者を減らす努力をしていかないといけないのではないか。そのあたりはどうなっているか。</p> <p>(事務局回答③)</p> <p>質問③について事務局より回答。</p> <p>認定者数増加を抑制することは重要な課題です。介護保険事業の対象は65歳以上の方になるが、40代、50代の方が自身の健康をもっと意識していただくことが重要になってくると考えます。本市では今年度から保健センターの健康づくり事業、保険医療課の特定健診事業、地域包括ケア推進課の介護予防事業で横断的な連携をとり、健康づくりと介護予防を一体的に行うことに取り組んでおります。まず、中高年の時期から自身の健康意識を高め健康状態を改善し、高齢者になってからも持続してもらおう。つまり健康寿命の延伸が認定率上昇の抑制につながると考えます。まず、本市の市民の平均健康寿命を奈良県平均に可能な限り近づけたいと考えます。</p>
-------	--

